

2023(令和5)年度 事業計画書

自 2023 (令和5) 年 4月 1日
至 2024 (令和6) 年 3月 31日

公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会

公益目的事業 1. ビタミン・バイオフィクター及びこれらに関連する研究を行っている機関に対して研究費等の助成を行う事業

助成事業

・2023(令和5)年度研究助成事業

2023(令和5)年度の研究助成先並びに助成金額は、審査委員会の書類選考によって選出した後、理事会に於いて承認された。

・2023(令和5)年度 研究助成先及び研究テーマ一覧表

(1) ビタミンB研究委員会

〈研究テーマ〉

- ・多彩な生理作用を営むピオプテリンの代謝と作用機序の解明
- ・ビタミン依存性酵素の構造機能解明と有用化合物の効率的合成への応用
- ・ビタミン・バイオフィクターの微生物における代謝・生合成と生理機能
- ・擬似ビタミン B₁₂の精密分析と生体に及ぼす影響の解明
- ・生体内代謝物である一級脂肪酸アミドのバイオフィクターとしての存在意義の確立

(2) ビタミンC研究委員会

〈研究テーマ〉

- ・ビタミンCと老化、エピジェネティクスに関する開拓研究
- ・動物におけるビタミンCの代謝、生理機能、臨床応用に関する研究推進
- ・ビタミンC(アスコルビン酸)およびその誘導体の代謝、生物機能、生産に関する研究推進

(3) 脂溶性ビタミン総合研究委員会

〈研究テーマ〉

- ・慢性腎臓病モデルマウスの腎臓におけるビタミンA代謝変動機構の解明と病理学的意義

(4) 徳島大学大学院

〈研究テーマ〉

- ・高度耐熱性色素依存性脱水素酵素の立体構造情報に基づく新規有用酵素の創製

(5) 順天堂大学大学院

〈研究テーマ〉

- ・ビタミンD₃のアトピー性皮膚炎改善作用の機序解明と治療応用

2023(令和5)年度事業計画書

- ・2024(令和6)年度の募集要項は、2023(令和5)年12月、ホームページを通じて公開される予定である。

応募期間 : 2024(令和6)年1月10日 ~ 2月10日

書類選考 : 審査委員会にて行う

選考結果 : 2023(令和5)年度の理事会にて決定、応募者に通知する
審査方式は、合議審査を行わず、2段階での書面審査を実施し、採否を決定する
「2段階書面審査」を実施し、理事が第1段階目の審査委員となる。

公益目的事業 2. ビタミン及びバイオフィクター等に関する知識を普及する事業

広報・活動事業

(1) ビタミン・バイオフィクター関係新情報の提供

当協会やビタミン・バイオフィクター関連団体の市民公開講演会、諸講座、シンポジウム等の開催日程や内容などに関する新情報をホームページに掲載する。これらにより広くビタミン・バイオフィクターに関する情報の提供、知識の普及を図る。また当協会の会員数の増強を図るためにも、ホームページを通じて事業、企業会員情報、ビタミン・バイオフィクター関連の特許情報を掲載する。

(2) 一般市民を対象にした公開講演事業

ア. 市民公開講演会開催

2023(令和5)年度 ビタミン・バイオフィクター協会 市民公開講演会(主催)

開催日 : 2023(令和5)年12月2日(土)

会場 : 龍谷大学響都ホール

〒601-8003 京都市南区東九条西山王町3-1 アバンティ9階

世話人 : 内藤 裕二(京都府立医科大学 大学院医学研究科 教授)

吉村 徹(本協会業務執行理事、立命館大学上席研究員、
名古屋大学名誉教授)

テーマ : 健康長寿を目指した食の話 : 食事の時間、腸内細菌、
ビタミン・バイオフィクターに注目して

講演予定

1. 「ビタミン・栄養素欠乏に由来する体調不良(軽度不調)とその対策」

山本 万里(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
(農研機構) 食農ビジネス推進センター センター長)

2. 「いつ、何をたべるかの栄養学」

田原 優(広島大学医系科学研究科公衆衛生学 准教授)

3. 「ポリフェノールの新しい機能性」

岸本 良美(摂南大学農学部食品栄養学科 准教授)

4. 「セラミドと健康」

生城 浩子 (大阪医科薬科大学医学部生化学教室 講師)

5. 「運動と腸内細菌・バイオフィクター」

青井 渉 (京都府立大学生命環境学部食保健学科 准教授)

6. 「健康長寿と腸内細菌叢」

内藤 裕二 (京都府立医科大学生体免疫栄養学講座 教授)

7. 「70年目を迎えた日本のビタミン強化米ー健康と食品についての企業の取り組み」

山本 憲朗 (ハウス食品グループ本社株式会社研究開発本部
イノベーション企画部 主席)

イ. 市民公開講座開催

2023 (令和5) 年度 日本ビタミン学会 市民公開講座 開催 (共催)

開催日 : 2023 (令和5) 年 11 月 18 日 (土)

会場 : 一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

実行委員長 : 影近 弘之 (東京医科歯科大学教授)

テーマ : 健康とビタミン

講演予定

「次世代の健康に重要な葉酸のおはなし」

瀧本 秀美 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
栄養疫学・食育研究部長)

「日本人とビタミン D」

越智 小枝 (東京慈恵会医科大学 教授)

「免疫は栄養がつくるービタミン類の働きを中心にしてー」

阿部 皓一 (武蔵野大学薬学部 SSCI 研究所分析センター長)

(3) 事業委託

ア. ビタミン B 研究委員会

研究者間の交流及び最新の研究内容などの公開を図るため、ビタミン B 研究委員会に下記のような研究協議会とシンポジウムの開催を委託する。

また、その内容に関してホームページなどを通じて一般に周知する。

研究協議会

第 471 回	6 月 16 日	仙台・東北大学農学系総合研究棟
第 472 回	9 月 1 日	徳島・クレメントホテル徳島
第 473 回	11 月 10 日	京都・京都大学 楽友会館
第 474 回	3 月 1 日	東京・東京大学 中島ホール
シンポジウム	2 月 29 日	東京・東京大学 中島ホール

イ. 日本ビタミン学会

年次大会や学会誌「ビタミン」を通してビタミン・バイオフィクターの研究成果の発表，情報交換を図る。

(4) 情報広報

マスコミからのビタミン・バイオフィクターに関する企画、問い合わせなどに正確に対応する。また、一般からのビタミン、バイオフィクター、サプリメントなどに関する質問に対しても迅速に回答する。